








道南周年記念カレンダー(平成27年3月現在)

出来事	函館朝市の始まり	真宗大谷派函館別院の建立(現在の建物)	旧函館区公会堂の竣工	西洋洗濯伝習所の開所	碧血碑の建立	「旧岩船氏庭園(香雪園)」の名勝指定	福山城(松前城)の築城<<松前町>>	
開始年	開始年 1945 年	開始年 1915 年	開始年 1910 年	開始年 1880 年	開始年 1875 年	開始年 2001 年	開始年 1606 年	
内容	昭和20年(1945)、戦後函館周辺の農業生産者の一部が換金の必要に迫られ、野菜の立ち売りを始める。当時は組織化された配給ルートも無く、闇市の一部として見なされていた。	明治40年(1907)の函館大火で堂宇を焼失した後に、大正4年(1915)、伊東平左衛門九世の設計により鉄筋コンクリート造で再建された寺院建築である。鉄筋コンクリート造の初期の遺構であり、鉄筋コンクリート造で伝統様式を再現した我が国で最初の寺院建築として高い歴史的価値がある。	明治43年(1910)に建てられた左右対象のコロニアルスタイルとブルーグレーとイエローの色が特徴的な建物。明治時代に建築された現存する公会堂の中でも建築意匠・技法に優れ、建物の改造が少なく、家具の保存状態も良いことなどから、昭和49年(1974)に国の重要文化財に指定されている。	函館支庁は、函館女紅場経費によって購入した洗濯機を使って本格的な西洋洗濯の方法を伝授することを計画し、明治13年(1880)、現在の元町に西洋洗濯伝習所を建設、同所の教師にユースデン英国領事夫人を招聘し、1月26日開所式を行った。	箱館戦争で戦死した土方歳三や中島三郎助父子をはじめ、北関東から東北各地での旧幕府脱走軍戦死者の霊を弔ったのが、碧血碑である。	函館市の素封家岩船峯次郎氏が、明治31年(1898)頃から造成した本格的「風景式庭園」で、岩船氏の別荘として使われてきた。平成13年(2001)には文化財保護法に基づく「名勝」の指定を受け、「旧岩船氏庭園(香雪園)」の名で北海道唯一の国指定文化財庭園となる。	松前家の初代藩主・松前慶広が慶長11年(1606)に福山館を築城。その後、火災や修築などを経て、十七世藩主・松前崇広により福山館を拡大し築城、安政元年(1854)完成した松前福山城は、旧式築城では日本最後のものとなった。	
参考URL	函館朝市協同組合連合会	文化遺産オンライン	函館市・文化スポーツ振興財団	函館市史デジタル版	案内看板より	函館市住宅都市施設公社	北海道松前藩観光奉行	
イメージ写真								
	周年	周年	周年	周年	周年	周年	周年	
西暦	2015	70	100	105	135	140	14	409
	2016	71	101	106	136	141	15	410
	2017	72	102	107	137	142	16	411
	2018	73	103	108	138	143	17	412
	2019	74	104	109	139	144	18	413
	2020	75	105	110	140	145	19	414
	2021	76	106	111	141	146	20	415
	2022	77	107	112	142	147	21	416
	2023	78	108	113	143	148	22	417
	2024	79	109	114	144	149	23	418
	2025	80	110	115	145	150	24	419
	2026	81	111	116	146	151	25	420
	2027	82	112	117	147	152	26	421
	2028	83	113	118	148	153	27	422
	2029	84	114	119	149	154	28	423
	2030	85	115	120	150	155	29	424
	2031	86	116	121	151	156	30	425
2032	87	117	122	152	157	31	426	
2033	88	118	123	153	158	32	427	
2034	89	119	124	154	159	33	428	
2035	90	120	125	155	160	34	429	

道南周年記念カレンダー(平成27年3月現在)

出来事	トラピスト男子修道院の創設《北斗市》	「土偶」の国宝指定	はこだてクリスマスファンタジー開催	函館港まっりの開催	函館市政施行	日本最初の気象観測の開始	青函トンネル・津軽海峡線開業
開始年	開始年 1896 年	開始年 2007 年	開始年 1998 年	開始年 1935 年	開始年 1922 年	開始年 1872 年	開始年 1988 年
内容	明治29年(1896)、フランスからジェラル・プーリエ(後に帰化し、岡田普理衛と名乗る)ら9人の修道士たちがこの地を訪れ、日本最初の男子トラピスト修道院を創設した。現在の赤レンガの建物は、最初の修道院が焼失したため、明治41年(1908)に建てられたもの。	著保内野遺跡から出土したこの土偶は、内部が空洞で、頭部から脚先まで全身が薄く精巧につくられており、文様構成にも優れている。平成19年(2007)に国宝に指定される。	平成10年(1998)より、函館の冬季観光振興を目的に開始されたイベント。毎日18時より行われる点灯式には、市民はもちろん観光客も多く訪れる。	函館が開港して77年目にあたる昭和10年(1935)に、大火で打撃を受けた市民の士気を引き立て市勢の振興をはかるために開催された祭り。期間中、花火大会やパレードなど多くの人で賑わう。(昭和18～20年の3回は太平洋戦争のため中止)	北海道南端部に位置し、北国としては比較的温暖な気候風土を持ち、自然豊かで夜景をはじめ異国情緒あふれる建物など景観に恵まれたまちである。また、陸・海・空と交通の要衝となり国内外の玄関口として栄え、現在に至る。	富士成豊は、ブラキストンの観測を引き継ぎ、開拓使函館支庁は、気候測量所を設置し、明治5年から観測を開始。これが日本の気象観測所の始まりである。	昭和63年(1988)、青函連絡船である羊蹄丸の終航をもって、青函連絡船の歴史が幕を閉じ、青函トンネルが開業。
参考URL	北斗市	函館市縄文文化交流センター 函館市	はこだてクリスマスファンタジー 函館市	函館港まつり	函館市史デジタル版 函館市	函館市史デジタル版	「函館市史」デジタル版
イメージ写真							
	周年	周年	回数	回数	周年	周年	周年
2015	119	8	18	78	93	143	27
2016	120	9	19	79	94	144	28
2017	121	10	20	80	95	145	29
2018	122	11	21	81	96	146	30
2019	123	12	22	82	97	147	31
2020	124	13	23	83	98	148	32
2021	125	14	24	84	99	149	33
2022	126	15	25	85	100	150	34
2023	127	16	26	86	101	151	35
2024	128	17	27	87	102	152	36
2025	129	18	28	88	103	153	37
2026	130	19	29	89	104	154	38
2027	131	20	30	90	105	155	39
2028	132	21	31	91	106	156	40
2029	133	22	32	92	107	157	41
2030	134	23	33	93	108	158	42
2031	135	24	34	94	109	159	43
2032	136	25	35	95	110	160	44
2033	137	26	36	96	111	161	45
2034	138	27	37	97	112	162	46
2035	139	28	38	98	113	163	47

西暦

道南周年記念カレンダー(平成27年3月現在)

出来事	路面電車の運行	旧イギリス領事館の竣工 (現在の建物)	青函連絡船の就航	日本最古のコンクリート 電柱	トラピスチヌ女子修道院 の創設	湯の川温泉の開湯	江差追分全国大会の開 催《江差町》	
開始年	開始年 1913 年	開始年 1913 年	開始年 1908 年	開始年 1923 年	開始年 1898 年	開始年 1653 年	開始年 1963 年	
内容	路面電車は、函館区内の都市交通を担うため開業された馬車鉄道が元となっており、大正2年(1913)、弁天-基坂-十字街-区役所前-停車場前-若松橋というルートによって初めて電車が開通した。	イギリス領事館は、函館国際貿易港として開港して75年間、ユニオンジャックをかかげ続け、異国情緒溢れる函館を彩ってきた。数回の火災により焼失し、現在の建物は、大正2年(1913)にイギリス政府工務省上海工事局の設計によって竣工した。	国鉄青函連絡船は、明治41年(1908)比羅夫丸の就航ではじまる。北海道開拓事業の本格化とともに、青函連絡船も輸送力増強が望まれ、大正13年(1924)に、船に直接貨車を積み込む車両航送船が就航。昭和63年(1988)青函トンネルにバトンタッチし80年の歴史に幕を閉じる。	当時の函館水電会社(現:函館電力)が建てられたもので、現存するコンクリート電柱では日本最古のもの。	厳律シトー会天使の聖母トラピスチヌ修道院は、明治31年(1898)にフランスから派遣された8名の修道女が創設した日本最初の女子修道院。	承応2年(1653)、松前藩主九代・高広(幼名 千勝丸)が難病にかかったある夜、母の清涼院は「松前城の東にある温泉に行けば、どんな病も治る」という夢を見る。その温泉に千勝丸を湯治させるとまもなく全快。藩はお礼に、薬師堂を再建、鰐口を奉納。これが湯の川温泉の発祥といわれている。	昭和38年(1963)に第1回が開催され、単一民謡の全国大会としては最も歴史のある大会。	
参考URL	函館市史デジタル版 函館市	旧イギリス領事館	函館市青函連絡船記念館	案内看板より	函館国際観光コンベンション協会	函館湯の川温泉旅館協同組合	江差追分	
イメージ写真								
	周年	周年	周年	周年	周年	周年	周年	
西暦	2015	102	102	107	92	117	362	52
	2016	103	103	108	93	118	363	53
	2017	104	104	109	94	119	364	54
	2018	105	105	110	95	120	365	55
	2019	106	106	111	96	121	366	56
	2020	107	107	112	97	122	367	57
	2021	108	108	113	98	123	368	58
	2022	109	109	114	99	124	369	59
	2023	110	110	115	100	125	370	60
	2024	111	111	116	101	126	371	61
	2025	112	112	117	102	127	372	62
	2026	113	113	118	103	128	373	63
	2027	114	114	119	104	129	374	64
	2028	115	115	120	105	130	375	65
	2029	116	116	121	106	131	376	66
	2030	117	117	122	107	132	377	67
	2031	118	118	123	108	133	378	68
	2032	119	119	124	109	134	379	69
2033	120	120	125	110	135	380	70	
2034	121	121	126	111	136	381	71	
2035	122	122	127	112	137	382	72	

道南周年記念カレンダー(平成27年3月現在)

出来事	大沼公園の国定公園指定<<七飯町>>	函館公園の開園	五稜郭の築造	箱館の開港	ペリー来航	西洋リンゴの発祥<<七飯町>>	
開始年	開始年 1958 年	開始年 1879 年	開始年 1864 年	開始年 1859 年	開始年 1854 年	開始年 1869 年	
内容	大沼周辺は、明治36年(1903)から北海道の道立公園として自然が守られ、公園施設が整備されてきたところで、全国でも最も古い自然公園の一つ。昭和33年(1958)に、国定公園の指定を受け、大沼および駒ヶ岳は国の特別保護区域となった。	函館公園は、函館駐在英國領事ユースデンの呼びかけに端を発し、多くの市民の協力によって明治12年(1879)に開園された。	五稜郭は、幕末期の箱館開港に伴い、徳川幕府が諸外国との外交や海外防備および蝦夷地統治を目的に設置した箱館奉行所の防御施設で、稜堡と呼ばれる5つの突角がある星型五角形の西洋式土塁で、元治元年(1864)にほぼ完成した。	安政5年(1858)、日本とアメリカ合衆国の間で日米修好通商条約を締結し、その翌年の安政6年(1859)、箱館は正式に国際貿易港として開港した。	日本と和親条約を締結したアメリカの海軍提督MCペリーは、安政元年(1854)、開港される箱館港を下検分するため5隻の艦船を率いて来航した。	七飯では箱館開港時、外国船に食糧を供給するため、いち早く西洋農法が取り入れられた。明治2年(1869)に大規模な農場を七飯に開き、りんご、さくらんぼ等の種子を直接本国より取り寄せ栽培を試みており、りんご等は日本で最初に栽培された可能性が高い町と推察される。	
参考URL	七飯町	函館国際観光コンベンション協会	函館市教育委員会	函館市史デジタル版	函館市史デジタル版	七飯町	
イメージ写真							
	周年	周年	周年	周年	周年	周年	
西暦	2015	57	136	151	156	161	146
	2016	58	137	152	157	162	147
	2017	59	138	153	158	163	148
	2018	60	139	154	159	164	149
	2019	61	140	155	160	165	150
	2020	62	141	156	161	166	151
	2021	63	142	157	162	167	152
	2022	64	143	158	163	168	153
	2023	65	144	159	164	169	154
	2024	66	145	160	165	170	155
	2025	67	146	161	166	171	156
	2026	68	147	162	167	172	157
	2027	69	148	163	168	173	158
	2028	70	149	164	169	174	159
	2029	71	150	165	170	175	160
	2030	72	151	166	171	176	161
	2031	73	152	167	172	177	162
2032	74	153	168	173	178	163	
2033	75	154	169	174	179	164	
2034	76	155	170	175	180	165	
2035	77	156	171	176	181	166	